

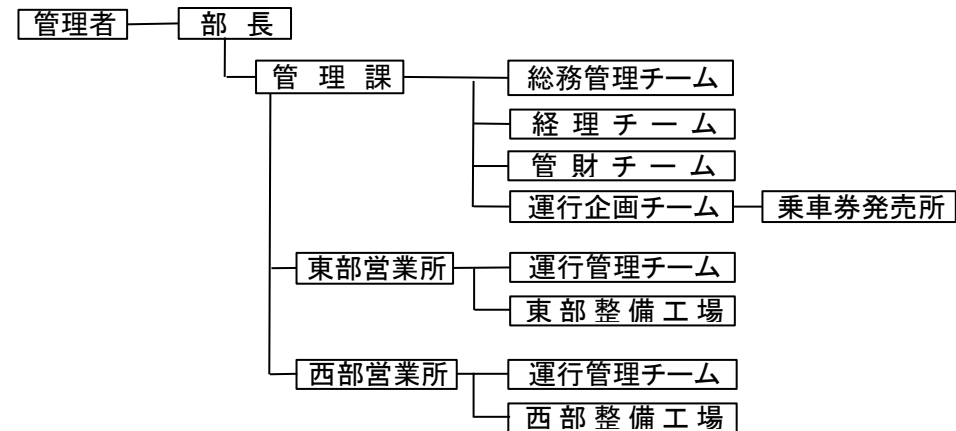
1. 組織概要

団体・組織名称	青森市企業局交通部
事業名称	自動車運送事業
管理者（企業局長）	相馬 政美
所在地	青森市大字野内字菊川47番地1
職員数	249人（うち乗務員183人）

※管理者は水道事業管理者と兼務

職員数に管理者は含まない

【組織図】



2. 事業概要

区 分	平成24年度	平成25年度	比 較	
			増 減	増減率 %
路線数	43 路線	36 路線	△ 7 路線	△ 16.3
ダイヤ数	159 ダイヤ	148 ダイヤ	△ 11 ダイヤ	△ 6.9
便数	1003 便	907 便	△ 96 便	△ 9.6
車両数	158 両	146 両	△ 12 両	△ 7.6
総走行キロ数	4,834,148.5 km	4,499,516.3 km	△ 334,632.2 km	△ 6.9
輸送人員	8,448,859 人	8,184,444 人	△ 264,415 人	△ 3.1
1日当たり輸送人員	23,148 人	22,423 人	△ 725 人	△ 3.1

【事業概要】

10月1日のダイヤ改正において、市が実施する「公共交通社会実験」の進捗に合わせ、浪岡線（空港経由）、高田線、青柳線など計7路線を休止・統合しました。

その結果、年度末時点では、36路線について、1日当たり148ダイヤ、907便の運行となりました。

【車両数】

車両数は、ダイヤ数の減少に伴い、前年度比12両減の146両となりました。

【輸送実績】

ダイヤ数の減少により、総走行キロ数は、前年度比6.9%減の約449万9,500kmとなりました。

輸送人員は、公共交通社会実験により、高田線や青柳線などの比較的輸送人員の多い路線を休止した影響などにより、前年度比3.1%減の818万4,444人となりました。

3. 決算の概要

青森市自動車運送事業会計 平成25年度決算の概要

平成25年度決算は、8年連続の赤字

輸送人員の減少が続く中、経費削減等の経営改善に取り組み赤字額は減少したものの、平成25年度決算は、約1億8,370万円の赤字決算となりました。
(平成18年度以降8年連続)

(1) 収益的収支(3条)

区 分	平成24年度	平成25年度	比 較		備 考
			増 減	増減率	
事業収益	2,491,480 ^{千円}	2,384,079 ^{千円}	△ 107,401 ^{千円}	△ 4.3 [%]	
営業収益	2,123,316	2,131,351	8,035	0.4	
営業外収益	365,432	238,981	△ 126,451	△ 34.6	
特別利益	2,732	13,747	11,015	403.2	
事業費用	2,728,640	2,567,734	△ 160,906	△ 5.9	
営業費用	2,620,972	2,516,408	△ 104,564	△ 4.0	
営業外費用	107,668	51,326	△ 56,342	△ 52.3	
特別損失	0	0	0	—	
純 損 益	△ 237,160	△ 183,655	53,505	△ 22.6	

【事業収益】

事業収益全体では、前年度比約1億740万円減の約23億8,410万円になりました。

営業収益は、前年度比約800万円増となりましたが、不採算路線を維持するための市の負担金の増加(約4,440万円)によるものです。

(乗車料収入は、約3,750万円減少)

営業外収益は、前年度比約1億2,650万円減となりましたが、主な要因は、H25年度の退職者が前年度より減少したことによる市補助金が減額となったことによるものです。

【事業費用】

事業費用全体では、前年度比約1億6,090万円減の約25億6,770万円になりました。

営業費用は、前年度比約1億460万円減となりましたが、主な要因は、退職者の不補充による人件費の削減などにより、職員給与費が約1億3,590万円減少したことによるものです。

また、軽油価格の高騰や、車両の修繕経費は増加しましたが、委託料の見直しなどにより、経費全体の削減を行いました。

営業外費用は、前年度比約5,630万円の減となりましたが、主な要因は、過去の退職金に対する償却額(繰延勘定償却)の減少によるものです。

【純 損 益】

費用が収益を上回ったことにより、約1億8,370万円の損失となりました。

(2) 資本的収支(4条)

区 分	平成24年度	平成25年度	比 較		備 考
			増 減	増減率	
収 入	417,363 千円	218,050 千円	△ 199,313 千円	△ 47.8 %	
支 出	471,072	287,184	△ 183,888	△ 39.0	
収 支 差 引	△ 53,709	△ 69,134	△ 15,425	28.7	

(参考)

区 分	平成24年度	平成25年度	増 減	備 考
資 金 不 足 額	337,874 千円	278,237 千円	△ 59,637 千円	
資 金 不 足 比 率	15.9 %	13.0 %	△ 2.9 ポ イ ン ト	

【資本的収支】

収入、支出とも前年度より大幅に減少しましたが、主な要因は、バス車両や設備、施設等を更新するための建設改良費とその財源である企業債の減少によるものです。

支出(建設改良費)については、平成24年度が老朽化に伴う車両運賃箱101両分、約2億7,600万円であったのに対し、平成25年度は、中型バス5両分、約8,660万円(前年度比△1億8,930万円:建設改良費全体では△2億3,570万円)となったことによるものです。